

# 松下幸之助経営塾

[第八期] 2014年7月開講

特別講師

※肩書きは、掲載当時のものです



**佐久間 昇二** (さくま・しやうじ) **びあ株式会社 社外取締役**

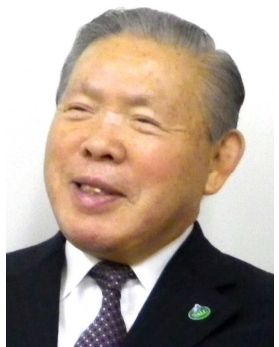
1931年、新潟県生まれ。54年、大阪市立大学経済学部を卒業。56年、同大学院経営学研究科修了後、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。83年、同社取締役・経営企画室長。86年、同社専務取締役。87年、同社取締役副社長。93年より株式会社WOWOW(当時は日本衛星放送)代表取締役社長に就任。以来、徹底したコスト管理と営業強化によって、倒産すら危ぶまれていた同社を再建に導く。社員に対しては、逆境こそ攻めの好機であると説く。同社の入社案内(97年)は、「ふつうの人生を送りたかったら、WOWOWだけはやめておきなさい」の言葉で始まり「それでもWOWOWでやりたい、キミを待つ」で終わっている。

2001年より、同社代表取締役会長を務め、06年6月より、取締役相談役。08年6月より、びあ株式会社社外取締役(現任)。14年6月、日本テレネット株式会社相談役。



**大倉 忠司** (おおくら・ただし) **株式会社鳥貴族 代表取締役社長**

1960年、大阪府生まれ。高校卒業後、飲食店経営をめざして辻料理師専門学校に入学。卒業後は、大手ホテルに入社し、2年間ウエイターを務める。82年に退社して焼き鳥店に勤務後、85年に独立し280円均一の焼鳥屋「じゃんぼ焼鳥 鳥貴族」1号店をオープン。86年、株式会社イターナルサービスを設立し、チェーン展開を開始。大阪を中心に新店を行ない、2005年より東京進出。09年より社名を株式会社鳥貴族に改め、14年5月現在で関西・関東・東海地区を中心に350以上の店舗を展開。



**高畑 敬一** (たかはた・けいいち) **NPO法人NALC 会長**

1929年、富山県生まれ。50年、旧制金沢工専(現金沢大学工学部)機械工学科卒業。同年、松下電器産業株式会社(現パナソニック株式会社 以下同じ)に入社。就労しながら夜間の大学に通学し、53年、関西大学経済学部を卒業。63年、松下電器産業株式会社労働組合中央執行委員長に就任。83年、松下電器産業株式会社取締役に就任。90年、同社常務取締役に就任。93年、同社の客員となり現在に至る。この間の主な団体公職歴は、64年、電機労連大阪地協議長。78年、「関西で歌舞伎を育てる会」を結成し代表世話人を受ける。82年、大阪21世紀協会企画委員(大阪城博覧会を担当)。84年、国民生活審議会委員。86年、日本電子機械工業会関西支部運営委員長。92年、関西大学常務理事等を歴任。94年、ボランティア団体WACアクティブクラブを設立し、会長に就任。99年、特定非営利活動法人を取得し「ニッポン・アクティブライフ・クラブ」に改称し、引続き会長として現在に至る。2005年から09年、枚方市社会福祉協議会会長。その他、現在、社会福祉法人大阪府肢体不自由者協会理事長、公益財団法人さわやか福祉財団理事、認定NPO法人市民福祉団体全国協議会代表理事、国立文楽劇場運営協議会委員、近畿富山県人会会長等に就任中。



## 小嶋 淳司 (こじま・あつし) がんこフードサービス株式会社 代表取締役会長

1935年、和歌山県生まれ。同志社大学経済学部卒業後、大阪榮寿司店にて1年間見習修行。63年、大阪十三にて4坪半の寿司店を創業。2年後に120席の大型寿司店を開店(現在の十三寿司店)。69年、法人設立。2005年より、現職。がんこフードサービス株式会社は現在、関西圏、関東圏を中心に、寿司、和食、炉ばた料理、とんかつ、回転寿司、自家製がんこ豆腐直売店等の直営店95店舗を展開中。また江戸時代より続く庄屋と庭園を生かした平野の『平野郷屋敷』や、京都高瀬川を開削した京の豪商「角倉了以」の別邸跡で高瀬川源流の『高瀬川二条苑』など、貴重な文化的遺産を生かした和食店を展開し話題となる。(社)関西経済同友会代表幹事、(社)関西経済連合会理事、(社)日本フードサービス協会会長、大阪商工会議所副会頭(在任中)などを務め、関西経済界の重鎮として知られる。著書に『儲かってまっか! がんこ流人育て心得帖』(1995年・日経BP社)。



## 矢崎 勝彦 (やざき・かつひこ) 株式会社フェリシモ 名誉会長

1942年、福井市生まれ。60年、大阪市立東商業高校卒。同年大阪音響(現オンキヨー)入社。65年に父、又次郎氏(故人)が創業した通信販売のハイセンス(現フェリシモ)に入社。専務取締役、副社長を経て、80年、代表取締役社長に、87年、代表取締役会長に就任。89年、京都大学名誉教授清水榮氏、禅師家井上希道氏と共に、京都フォーラムを創設し、事務局長に就任(現在メンバーは科学者、哲学者、教育者、産業人、宗教家、学識経験者など1800名)。89年、稲盛和夫(当時京セラ社長)を塾長とする盛和塾<大阪>代表世話人、全国組織化、本部理事、機関誌盛和塾編集委員長(1~91号)。92年、ブラジル・リオデジャネイロでの地球サミット(環境と開発に関する国連会議UNCED)にUNCED公式新聞共同発行人として参加。93年から世界27ヶ所において「将来世代国際学識者フォーラム」を開始。「将来世代留学生フォーラム」を日本各地において、諸外国からの留学生とともに開催。98年より、公共哲学共同研究会(現・公共哲学京都フォーラム)を開始。2014年、(財団法人)京都フォーラム理事長。著書に、『フェリシモ幸福社会学』(1990年・フェリシモ)、『良知への道』(1994年)、『信頼農園物語ー内発的公共性をひらく人心のイノベーションー』(2007年・地湧社)等多数。



## 岩井 虔 (いわい・けん) 株式会社PHP研究所 客員

1936年、満州ハルピン生まれ。千葉県、徳島県で育つ。58年、京都大学教育学部卒業ののち、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。61年、株式会社PHP研究所へ出向し、研究、編集、国際、研修部門を担当する。92年、同研究所専務取締役・研修局長を経て、97年に退任。同研究所顧問を経て、2009年より、現職。PHP研究所の所長であった松下幸之助に、28年間直接薫陶を受けつつ職務を担当。特にここ三十数年は、PHPゼミナールなど、主として企業人のための研修、講演に携わっている。

著書に、『そう考えると楽ですね~松下幸之助との日々』(2006年・PHP研究所)。

